

いろどり

〈編集・発行〉

西会津町総合計画策定プロジェクトチーム
(事務局:企画情報課)

〈問い合わせ先〉

町役場企画情報課

0241-45-4536

西会津町は未来をみんなで考えています

町では、令和8年度から15年度までの8年間のまちづくりを定める「西会津町総合計画(第5次)」の策定に町民・町職員・アドバイザーの総勢52名で取り組んでいます。

計画づくりでは、「西会津町」について多くの対話を重ね、みんなで幸せな未来へ向けた計画の素案をつくりあげました。素案については、別冊をご覧ください。

西会津町にとって「総合計画」とは・・・

西会津町には、まちづくりの憲法のような最上位の条例である「西会津町まちづくり基本条例」があります。この条例では、「総合計画」をまちづくりの最も基本となる計画として定めており、多くの町民が参加し、意見を出し合いながらつくる計画としています。

西会津町にとって「総合計画」は、

町民みんなでつくる大切な未来を描く計画です。

西会津町まちづくり基本条例（抜粋）

（総合計画）

第19条 町は、まちづくりの最も基本となる計画として総合計画を定め、これに基づいてまちづくりを進めるものとします。

2 総合計画は、まちづくりの指針となる基本構想と、その構想に基づき策定される基本計画により構成し、基本構想は議会の議決を経て定めるものとします。

3 町は、個別の計画を定めるときは、総合計画の考え方によつて定めるものとします。

：

（町民参加による検討組織の設置）

第22条 執行機関は、まちづくりへの町民参加を進めるため、次に掲げる事項を検討するときは、その都度町民参加による検討組織を設置するものとします。

（1）総合計画の策定及び見直し

：

：

計画づくりのあしあと



令和7年2月28日
第1回検討会議

計画づくりがスタート



今の西会津町への
『想い』と
これからについて

4月16日
第3回検討会議

- 町長講話
- 総合計画座談会
- テーマ
- ③今の西会津町について思うこと
- ④次期総合計画に盛り込みたい新たな視点



今回の計画づくりでは、Well-being（ウェルビーイング）の考え方を取り入れて検討を進めてきました。

これまでの振り返りと
変わったことについて

3月28日
第2回検討会議

- 総合計画座談会（グループワーク）
- テーマ
- ①現行計画（第4次）の評価検証
- ②現行計画に記載されていないこと



データに基づいた
西会津町の分析と
これから力を
入れるポイントについて

5月20日
第4回検討会議

- データでみる西会津町
- 総合計画座談会
- テーマ
- ⑤「西会津町のSWOT分析*」
- ⑥「これから力を入れるべきこと」

* SWOT分析
内部・外部環境から
「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つに分類

7月29日 第7回検討会議

- 前期基本計画（たたき台）の検討
- 地区別デザインの検討



町民懇談会と
意見公募へ

8月5日 第8回検討会議

- 西会津町総合計画（第5次）素案の検討



7月8日 第6回検討会議

- 町の将来像（仮）の検討
- まちづくりの方向性（仮）の検討
- 前期基本計画（たたき台）の検討



素案が完成！

分野別、地区別の
目指すべき姿について検討



6月12日 特別回 総合計画特別座談会

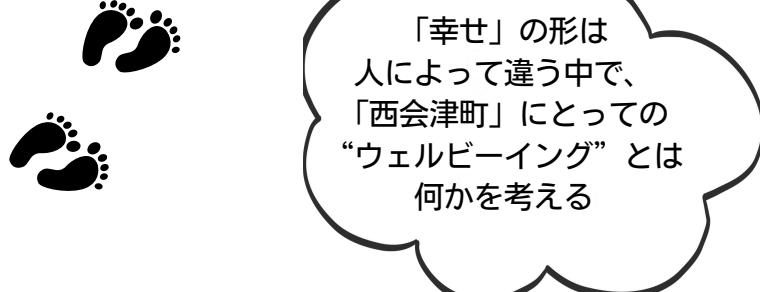
「私と町とウェルビーイング」



「幸せ」の形は
人によって違う中で、
「西会津町」にとっての
“ウェルビーイング”とは
何かを考える

6月17日 第5回検討会議

- 総合計画座談会
テーマ
⑦分野別「こんなまちになったらいいな」
⑧地区別デザイン
「〇〇地区を（で）私は〇〇していきたい」



西会津町総合計画（第5次）素案（抜粋）

みんなで描いた町の将来像（仮）

キャッチ
フレーズ

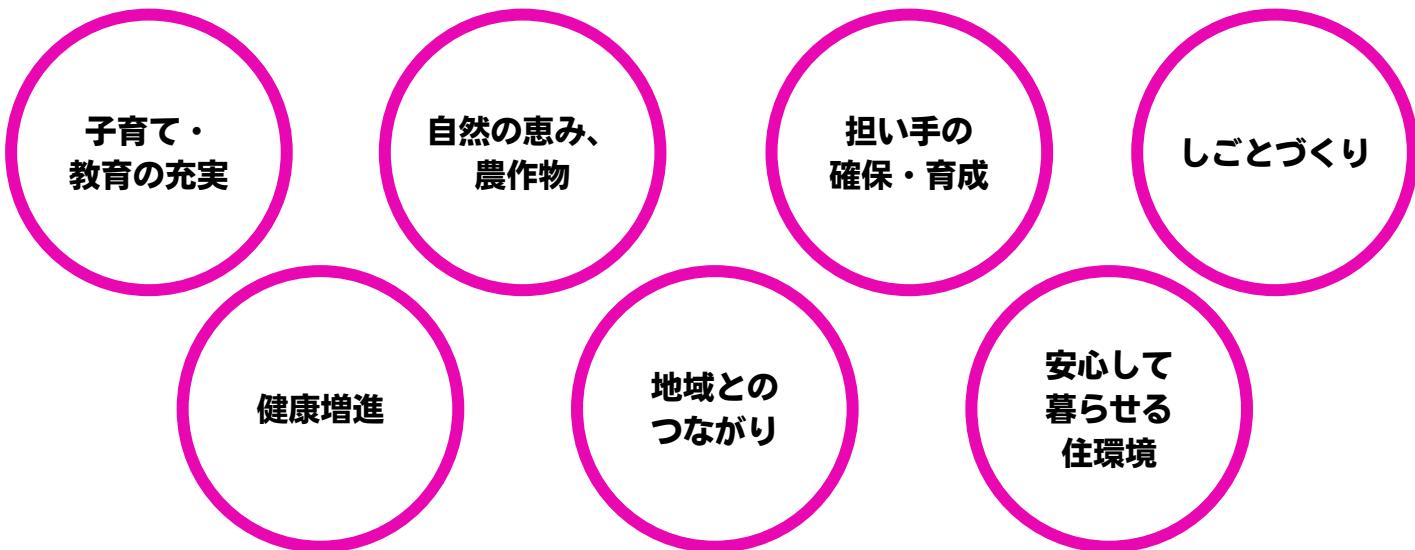
未来を編む。
幸せがゆっくり広がる、
こころのふるさと。西会津

人と人、自然と暮らし、過去と未来を丁寧につなぎ合わせ、自然の美しさや穏やかな空気感、そこに住む人々の温かさを感じ続けてもらえる町を目指します。

日常の忙しさから少し離れ、こころを満たす時間を過ごせる場所、それが西会津。

誰もが急ぎすぎることなく、生きることそのものの幸せを感じられ、どこか懐かしさや安心感を抱けるような町を目指します。

これから力を入れていくこと



※注意

「西会津町総合計画（第5次）」は現在、素案の段階であり、今後内容が変更となる可能性がありますのでご了承ください。

計画づくりについて
もっと知りたい方は
町ホームページから→



計画づくりのポイント

「Well-being（ウェルビーイング）」

■ウェルビーイングとは・・・

「よい（Well）」と「状態（Being）を合わせた言葉で、「健康」や「幸福」と訳されます。

身体的な健康、精神的な健康、社会的に良好な状態、これらすべてが満たされた状態にあることを意味する概念です。

■なぜ今「ウェルビーイング」なのか・・・

近年「国内総生産（GDP）」のような従来の経済的・物質的指標のみでは、「人々の幸福や豊かさ」を測れないという考え方から、「ウェルビーイング」の向上を重要視する動きが世界や日本国内において広まっています。

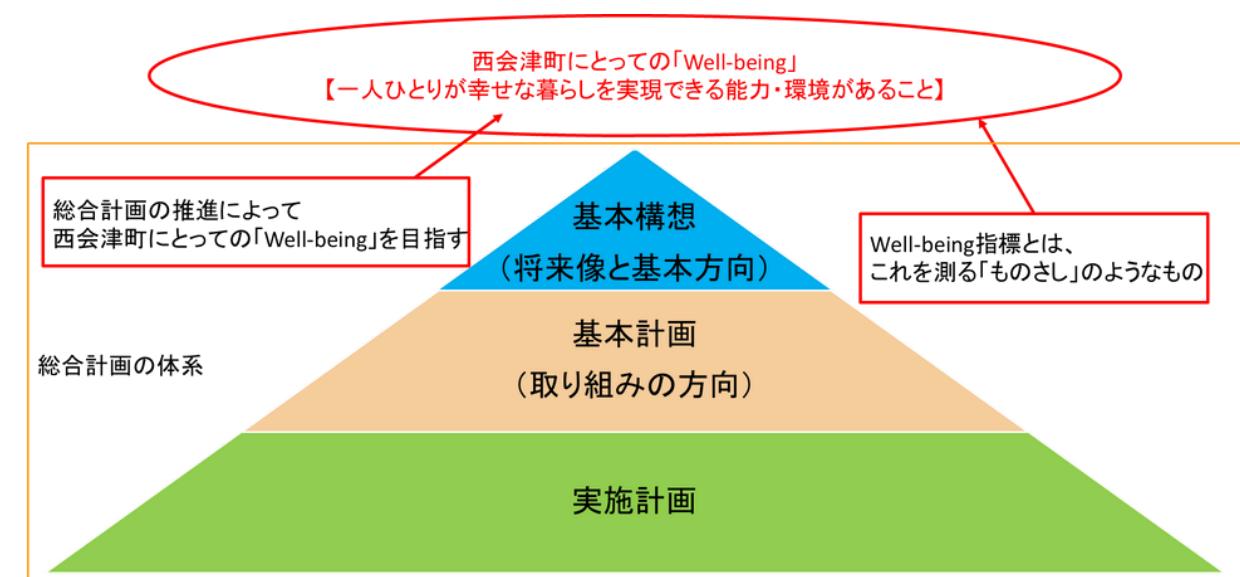
■幸福度や満足度を測る「Well-being指標」とは・・・

地域の幸福度や満足度を測る「ものさし」のようなものです。

主観データ（町民アンケートの結果）と客観データ（健康診断受診率等のオープンデータ）を用いて、数値化・可視化しています。

■西会津町にとって「Well-being」とは・・・

「一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力や環境があること（具体的には、問題に直面したときに自分やまわりの人と一緒に取り組めるうこと）」と定義し、計画づくりを進めてきました。

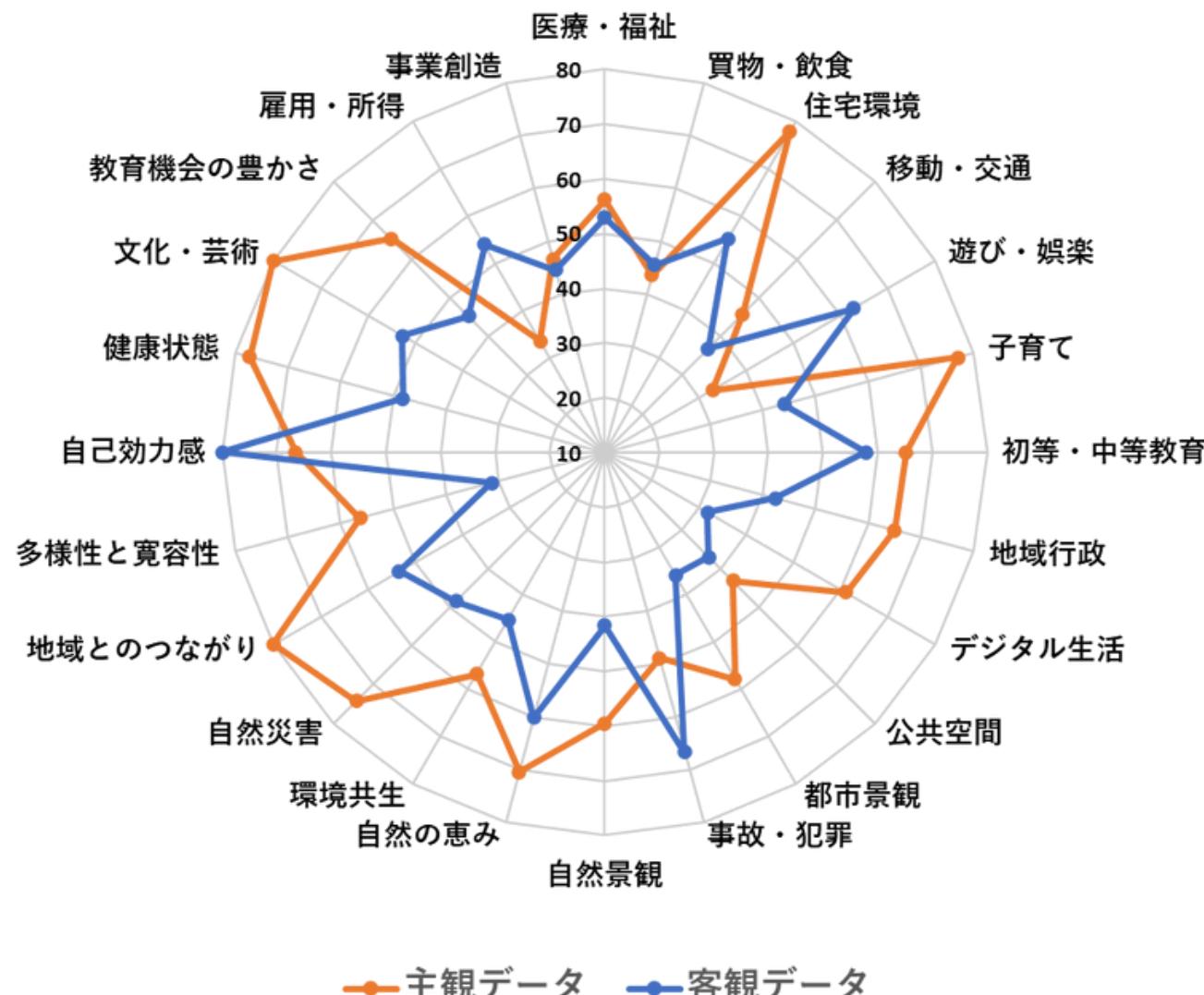


西会津町のWell-being指標

出典：デジタル庁Well-beingダッシュボード

カテゴリー別に数値の最小値を20、最大値を80として全国平均値に基づいて偏差値化しています。

■ 西会津町のWell-being指標（カテゴリー別レーダーチャート）



カテゴリ	主観	客観
生活環境	医療・福祉	56.2
	買物・飲食	43.6
	住宅環境	77.8
	移動・交通	45.7
	遊び・娯楽	32.8
	子育て	76.9
	初等・中等教育	65.2
	地域行政	65.0
	デジタル生活	61.0
	公共空間	43.2
	都市景観	57.8
	事故・犯罪	48.9
	自然景観	59.5
	自然の恵み	70.5
	環境共生	56.8
	自然災害	74.2
地域の人間関係	地域とのつながり	80.0
	多様性と寛容性	56.3
	自己効力感	66.5
自分らしい生き方	健康状態	77.3
	文化・芸術	80.0
	教育機会の豊かさ	65.2
	雇用・所得	33.5
	事業創造	46.6
	自然の恵み	70.5

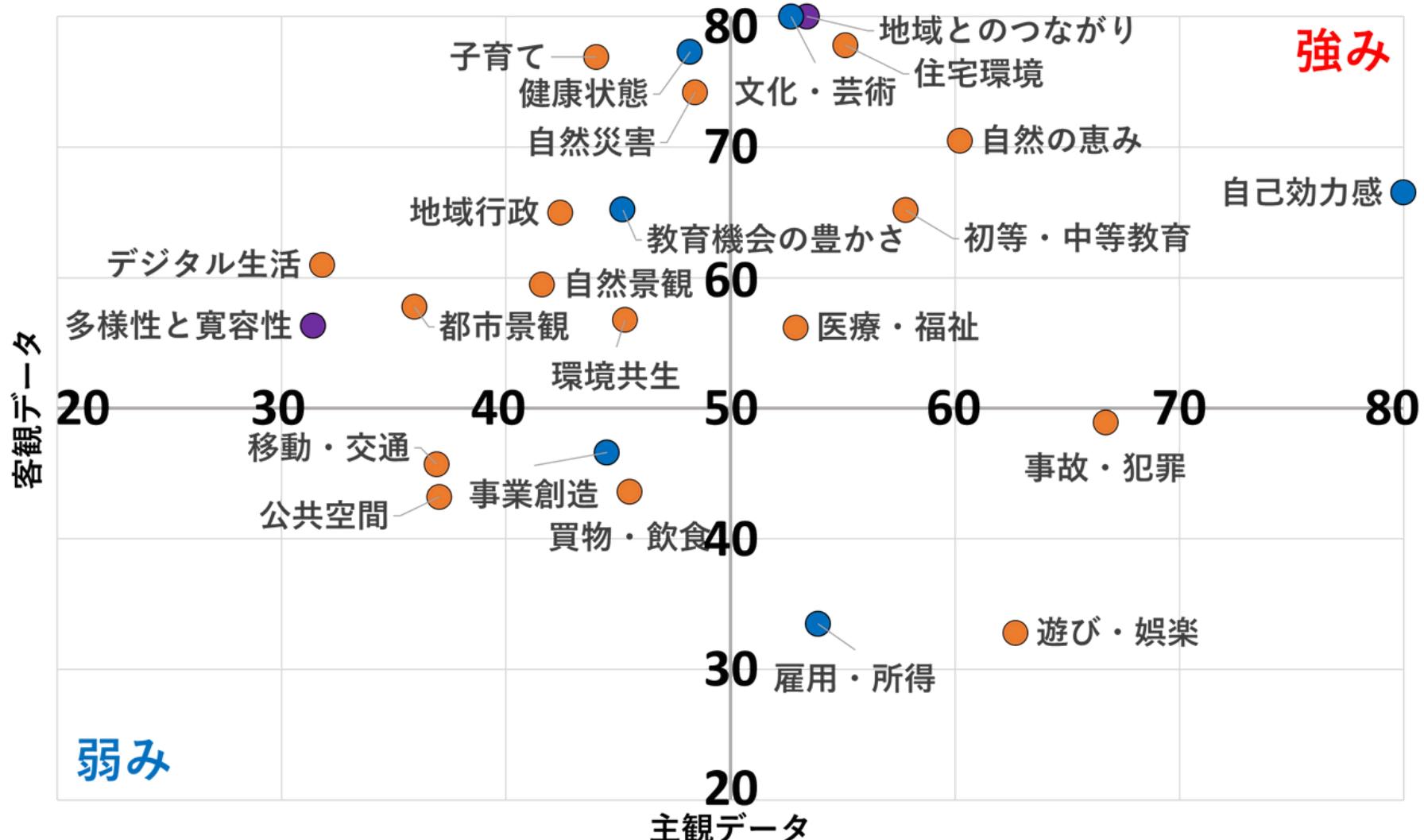
50点以上は、全国平均値よりも高い
50点未満は、全国平均値よりも低い

西会津町のWell-being指標

出典：デジタル庁Well-beingダッシュボード

カテゴリー別にX軸を客観データ、Y軸を主観データとしてグラフに落とし込んだものです。

Well-being指標では、グラフの上に行くほど町民の皆さんのが満足しているカテゴリー、右に行くほど町が力を入れているカテゴリーとなります。



計画づくりでは、このような指標などのデータを対話の道具として活用し、検討を進めてきました。

西会津町幸福度アンケート調査（主観データに反映）

”幸せ”な未来に向けて

西会津町幸福度アンケート調査



町では、令和元年度より「笑顔つながり 心からむまち 一ずーっと、西会津」（町の将来像）を目指し、さまざまなまちづくりを進めています。まちづくりの基本となる「西会津町総合計画（第4次）」の計画期間が令和7年度で満了となることから、町の未来を町民のみなさんと一緒に描いていくため、この度、”幸せ”をテーマにしたアンケート調査を実施いたします。

このアンケートでは、町で暮らすみなさんやまわりの方の”幸せ”について情報を集めることとともに、みなさんが”幸せ”について考え方、発見していただくきっかけとなることを目標しています。

アンケートに回答する際には、ぜひ、ご家族やご友人と話しながら”幸せ”について考えてみてください。

このアンケートの結果は、町で暮らすみなさんがどんなことに幸福を感じているかを測り、町の未来を描いていくための貴重なデータとして役立てられます。ご自身の豊富な考えを記入いただけると幸いです。

スマートフォンやタブレットでも
ご回答いただけます。

※スマートフォン等でご回答される場合は、アンケートの画面は表示されません。

9月30日（月）までに回収の返信用封筒に入れてご返送ください。

【おたり調査】にご協力ください。
＊アンケートについて、調査者が直接電話やメールなど、世間の騒音等を含めることに絶対にあらばせん。

（このアンケート調査に関する問い合わせ先）
西会津町役場・企画部課長・企画部幹事（企画部調査担当）
電話：024-71-451-1234

西会津町Well-being指標の主観データを収集及び、回答者の幸福度向上に向けたアンケートを実施しました。

【調査概要】

実施期間：令和6年9月1日～10月31日

調査地域：西会津町全域

調査対象：
①令和6年8月1日時点で町内に在住する18歳以上の
町民1,000人
(年齢・地区別人口割合等を考慮し、無作為に抽出)
②町内の中学校・高等学校に通学する町内在住の生徒
107人
全1,107人

設問構成：
①回答者の属性に関する設問 3問
②デジタル庁推奨の全国標準設問 51問
③町独自設問 22問
全76問

回収結果：配布件数 1,107人、回収件数 480件、回収率 43.4%
※統計学に基づく、全町民にアンケートを実施した結果との誤差が5%未満になる**信頼度は97%**となりました。